

## 出展者アンケート(1)

### 出展してよかった点を教えてください。【自由記述】

- ・団体の活動紹介を行うことができた。
- ・普段関わりのない多くの人に取り組みをPRする機会となった。
- ・来場者に非常に喜んでいただけた。
- ・来場者と話す機会が持て、応援の言葉をいただいた。
- ・地域の方と直接触れ合える機会になった。
- ・自身の活動において不足している部分を認知出来た事。
- ・反省⇨改善を即実行でき、成果や結果を即可視化でき検証出来た事。
- ・日頃の取り組みを知っていただき、学生さんからもコラボできればとお話があった。
- ・親子の笑顔に接することが出来て満足している。
- ・他ブースとの交流を通じて、ワークショップや啓発方法について知見を広めることができた。
- ・来場者や他の出展者の方々と催しを通じて交流ができ、また、多様な意見を聞くことができたので、今後の活動の参考になった。
- ・家族連れをはじめ幅広い年齢層の方々と交流することができた。
- ・来場者の方々と話すことで、日ごろの活動を広く知っていただくとともに、これまでの内容を振り返ることができ、今後の取組みに生かしていきたいと思っている。
- ・北九州市が主催する企画に参加することで北九州市の賑わいづくり少しでも貢献することができたと感じる。
- ・毎年の出展(24年間)を継続できたこと。又、エコライフステージだけでなく、年間通しての環境活動の大切なことをこの場で伝えることができるのが大変うれしい。
- ・井筒屋前への出展となり、これまでと異なる客層のお客様にアプローチすることができた。

### イベントへの要望や改善点がありましたら、ご記入ください。【自由記述】

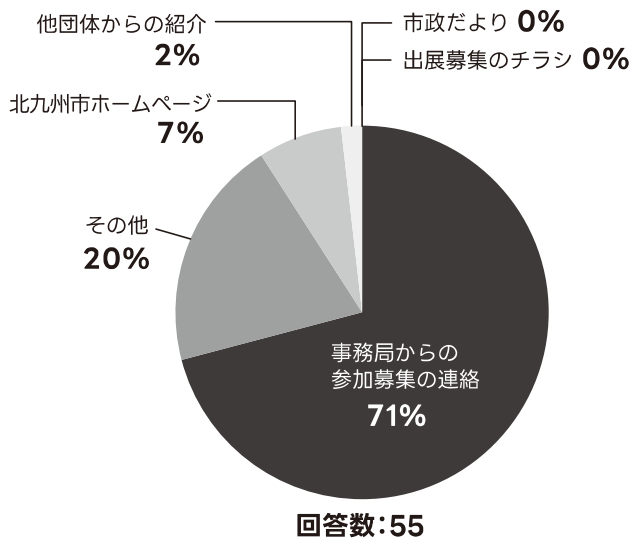
- ・会場のレイアウトが2つに分かれており、井筒屋方面と市役所周辺で人通りの差を感じた。
- ・会場が市庁舎周辺・リバーウォーク・井筒屋と広範囲に亘っていたため、他のブースを見に行くことが難しかった。
- ・会場が分かれていたので、一体感に欠けている印象だった。会場を分けるのであれば、テーマ(似たようなテーマ)毎に出展場所をまとめてみるのも良いと思う。テーマ共通のワークシートやクイズなどを行うことで、より深掘りできると思う。参加記念品目当ての人がいるので、それを利用することで(例:アクションスタンプラリー)、展示内容に関心を持ってもらえるかも…。
- ・会場間の行き来がさらに促進できるよう、モバイル用の無人電動車などで運行できると良いのでは。
- ・メイン会場から離れることでどういうイベントであるのか理解をされていないお客様も居られたと感じる。
- ・2会場をつなげる工夫が必要。(橋にキッチンカーを配置するなど)
- ・勝山公園でのイベントがある時の開催だと賑わいが増すと思う
- ・開催時期が、小学校運動会、起業祭、福岡市環境イベントなど、重複して集客が大変だった。特に、起業祭に取られた感触が強い。
- ・11月は行事が多く、市民センター文化祭・区のイベント等と重なり、参加できなかった会員も多く、調整して欲しい。
- ・多種多様なステージ内容であれば客層も多種多様となり来客効果もありそうだが、2日間同じ内容であれば集客的な数を考えると1日開催でもよいのかな、と感じる。
- ・中学生から20歳代の来場者の割合が少ないように感じた。この年代層に興味をもってもらえる企画、例えば「音楽フェス」とのコラボのようなものが実施できると面白く、更にイベントが盛り上がるのではないかと思う。
- ・当該イベントの中心場所においては、木質化されたベンチやテーブル及び子どもが裸足で駆け回れる人工芝などを敷設し、憩いの空間を創出してはどうか。
- ・イベントのスタートと終了について、本部からアナウンスをお願いしたい。
- ・天候に左右されるところで、出展内容を決めかねた。
- ・終了時間が早すぎた。
- ・準備するにあたり、もう少し情報を早く展開してほしい。
- ・広報活動が不十分に感じた。ていたんのSNSなどでイベントの見どころや各出展ブースのPRをした方が良いのではないか。出展側と市の公式SNSでは広報力に差があり出展側だけでは不十分だと思う。

## 出展者アンケート(2)

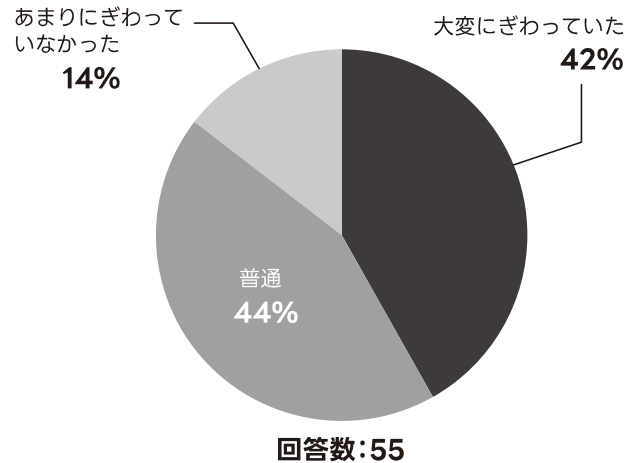
### 日ごろの活動のなかで、課題に感じていることはどのようなことですか。【自由記述】

- ・同じようにSDGsに関連した活動を行なっている団体との交流の場が少ない。
- ・部員が増えても、活発に活動するメンバーは一部しかいない。
- ・人手が不足している。活動を続けていくために仲間を増やしたいがなかなか難しい。
- ・次世代を担う若い世代のメンバーが入ってこず、活動を継続できない恐れがあるため、若い世代に活動の必要性を知ってもらう必要がある。
- ・次世代を担う若い世代を中心に啓発を行いたいと考えているが、アプローチの手段が少ない
- ・一般の方への啓発の機会が少なく、啓発を行う機会が少ない。
- ・SNSやショート動画等、若い世代に訴求するための啓発資材やアイデアが乏しい
- ・ワークショップ等のイベントに積極的に参加する学生が少ない。
- ・SDGsに対してハードルを感じられていること。
- ・イベント等を実施する際、リピーターが多いため、新しい層へ情報を到達させ興味を持っていただく必要がある。

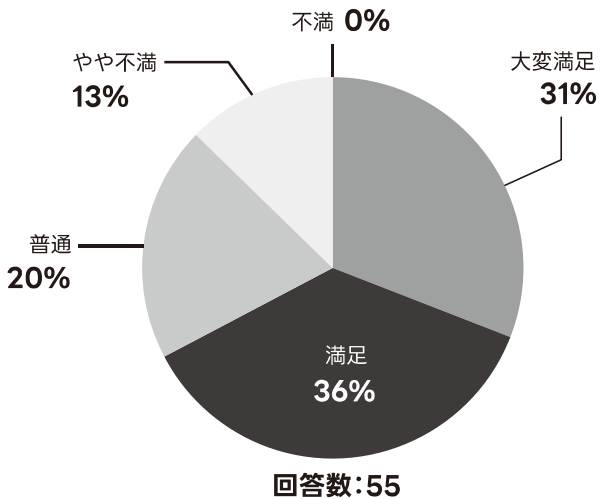
### 「北九州エコライフステージ2025」に出展したきっかけを教えてください。【選択式】



### ブース来場者の状況(にぎわい)はいかがでしたか。



### 「北九州エコライフステージ2025」出展の満足度を教えてください。【選択式】



### 来年度の出展希望についてお聞かせください。

